

第 2 回委員会意見と対応事項

	意見	対応内容	備考
自転車ネットワークの計画と基本方針（案）について			
1	長岡技術科学大学 佐野准教授 基本方針（あるべき姿）（案）で、長岡に住む人と来る人への移動支援、と“住む人と来る人”と分けているが、住んでいる人の利用も促進してもらい、長岡市民のレクリエーションのひとつとして自転車を位置付けしていただきたい。	『自転車ネットワーク基本方針』を一部修正	資料 2 - P2
2	長岡工業高等専門学校 荒木教授 自転車は生活に密着していることから、走行空間を整備するだけでなく、安全に配慮した取り組みの推進をお願いしたい。	『歩行者と自転車利用者の安全性を確保するためのソフト施策について』を提示	資料 2 - P9
自転車ネットワークの候補路線について			
3	長岡技術科学大学 佐野准教授 どのような整備を進めていくのか。	『自転車走行空間の整備方針及び整備形態について』を提示	資料 2 - P3
4	長岡技術科学大学 佐野准教授 ネットワーク路線だけでなく、一本内側も必要ならば整備するのか。	必要に応じて局所的な対応については、検討していきたい。	
5	長岡市土木部道路管理課 大塚課長 長岡東バイパス等はこの直轄国道は側道を整備する方針なのか。	具体的な整備手法は道路管理者と協議・検討していきたい。	
6	長岡工業高等専門学校 荒木教授 長生橋西詰では、自転車は県道宮本大島線を通行せず、住宅地側の道路を通行している実態がある。 幹線道路だけではなく、抜け道として使われている道路等の整備を行うことで、効果は上がると考える。	『整備区間の設定』により、一部代替路線を設定	資料 2 - P5

7	<p>長岡市土木部道路管理課 大塚課長</p> <p>自転車歩行者専用道として、整備計画がある廃線敷等についてもルートとして検討してはどうか。</p> <p>また整備済みの自転車歩行者専用路線についても有効活用できるのではないか。</p>	<p>『整備区間の設定』により、一部自転車歩行者専用道路を計画路線として設定</p>	資料 2 - P5
8	<p>長岡技術科学大学 佐野准教授</p> <p>長生橋上流側の堤防道路はネットワークとして設定しないのか。</p>	<p>管理用道路なので、設定しない。</p>	
9	<p>長岡工業高等専門学校 荒木教授</p> <p>信濃川橋梁部には左右に自転車歩行者道があるが、取付部の交差点では横断帯等が設置されていない。</p>	<p>原則、自転車は車道の左側を通行し、交差点では二段階右折をすることになっている。</p> <p>交差点での自転車の通行位置等は矢羽型路面表示等を検討したい。</p>	
10	<p>長岡工業高等専門学校 荒木教授</p> <p>雁木通りでの自転車の通行位置はどのように考えるか。</p> <p>歩行者の通行が少ない広い歩道については、自転車道を設置してはどうか。</p>	<p>『自転車走行空間の整備方針及び整備形態について』を提示</p>	資料 2 - P3
その他			
11	<p>長岡技術科学大学 佐野准教授</p> <p>路上駐輪については、短時間の買い物等、日常利用に対応する駐輪場の整備も検討してはどうか。</p>	<p>駐輪の状況等を把握しながら、大手口周辺にも放置禁止区域を作ることにも検討していきたい。</p> <p>路上に駐輪場を整備する場合は、道路管理者の判断が必要となる。</p>	